

商店街活性化事業計画の概要

地域

新潟県新潟市

認定日

平成24年4月13日

**事業名：地域住民への健康的ライフスタイルを支援する来街促進及び
ポイントサービス事業(通称：健康づくり事業)**

事業者名： 万代シテイ商工連合会商店街振興組合

事業実施期間 平成24年4月～平成27年3月

■商店街活性化事業の概要

- ・空き店舗を活用して近隣住民の来街の際の休憩スペースを設置。健康づくりをキーワードに、ウォーキングマップや商店街の健康に関する商品・サービスの情報を集約し、近隣からの徒歩来街者の増加を図る。また、健康に関する講座や交流会も開催する。
- ・徒歩来街を促進する「歩行ポイント」と、お買上げの際に付与される「買い物ポイント」導入する。買い物ポイントでは、店舗がお薦めする健康関連商品等に対して、独自に高い付与率が設定できることで、より健康志向の高い消費を促す。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

地域住民のアンケートでは、街への要望として「休憩スペース」や「来街手段へのサービス」等の声が多かった。さらに取り上げてほしいジャンルとしては「健康・スポーツ」や「グルメ・料理」、充実してほしい店舗・業種としては「飲食店」が挙げられた。

◆実施計画の主な内容

- ・休憩スペースとしてのサロンの設置を行い、健康志向の来街(徒歩や健康関連商品の購買)を促すために、健康関連情報の集約やウォーキングなどの講座を行う。また、近隣住民をターゲットとして地域の茶の間(定期的な寄り合い)の役割を果たし、コミュニティの形成を図る。
- ・2つのポイントサービス(歩行ポイントと買い物ポイント)を導入し、健康的な来街(徒歩)の促進と健康づくりを推進する商品による消費の囲い込みを図る。また、これらのポイント交換所をサロンに設置することで、定期的な来街を促す。
- ・個店の魅力向上策として健康食講座等を行い、参加者からのニーズ収集や情報共有によりポイントサービス等の戦略に活用していく。

■商店街活性化事業計画の目標

- ・歩行者通行量を計画終了時の平成26年度に、平成23年度と比較して4%増を目指す。
(ラブラ万代前：12,298人→12,795人／伊勢丹前：12,283人→12,780人)
- ・商店街の売上を計画終了時の平成26年度に、平成23年度と比較して1.3%増を目指す。
年間売上：52,718百万→目標売上(平成26年度)53,417百万 ※1.3%増加

【商店街の様子】



【商店街の様子】



【イベントの様子】

